

国の機関等による向こう5年間の国際会議等の北海道開催計画

	年度	会議名	所管省庁名等	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
1	27	oneM2M Partnership Project Technical Plenary (TP) 17 Meeting	総務省	27年5月18日～22日	札幌市	M2M技術に関する標準化団体、企業等による国際標準化会議	100名程度
2	27	ウナギ資源の保存及び管理に関する国際約束の検討のための非公式協議	水産庁	27年6月1日～4日	札幌市	ウナギの国際的な資源管理について議論	30～40名程度
3	27	植物新品種保護国際同盟第44回農作物技術作業部会	農林水産省	27年7月5日～10日	帯広市	植物新品種保護国際同盟の加盟国間の審査の状況等の情報交換、審査基準の調和を図るための検討を行う会議	50～70名程度
4	27	中西部太平洋まぐろ類委員会第11回北小委員会	水産庁	27年8月31日～9月3日	未定	中西部太平洋まぐろ類委員会の管理対象のうち北資源（太平洋クロマグロ他）の管理措置を議論	120名程度
5	27	国際シンポジウム「前進する北の林業－先進機械による伐採・造林一貫システムの開発」	(独) 森林総合研究所北海道支所	28年2月16日	札幌市	農食研事業「先進機械を活用した伐採・造林一貫システムによる低コスト人工林管理技術の開発」の成果等について、北海道と共通点の多いフィンランドの実態と比較しつつ講演と議論	200名
6	29	2019寒地土木研究所および農村工学研究所、釜慶大学地質環境研究所による国際共同シンポジウム	(独) 土木研究所寒地土木研究所、農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所、釜慶大学地質環境研究所（韓国）（共同主催）	29年夏～秋	札幌市	日本及び韓国の地盤環境の調査及び評価手法に関する研究に携わる研究者の技術情報の交換を目的として開催	40名
7	30	第30回世界牛病学会	農林水産省	30年7月又は8月	札幌市	牛を中心とした反すう動物の獣医学に関する国際学会	1,600名程度

※ このほか、向こう5年間(平成27～31年度)に、北海道で開催する可能性のある国際会議等が16件ある。

出典：国土交通省北海道局調べ

注1：国の機関等とは、各省庁、地方支分部局、各省庁が所管する独立行政法人、特殊法人などのことを指す。

注2：本資料の「国際会議等」は参加者総数10名以上、参加国数は日本を含む2カ国以上を対象としている。